

### 編集 後記

日本公衆衛生雑誌第55巻第7号では、原著論文を2つ、資料を2つ、そして連載をお届けします。

原著論文は、低栄養と介護保険認定・死亡リスクに関するコホート研究、及び日本人女性の婚姻動向における年齢・時代・コホートの効果と出生動向との関連の2つです。わが国の健康政策上、介護予防・健康長寿及び少子化対策は共に最重要課題であり、これらの対策を検討する上で貴重な結論が得られています。一方、資料では、中高年における生活の質の向上に欠かせない、新たな公衆衛生上の課題である尿失禁に関する調査、及び病院における高齢者への退院支援実施状況調査の2つが掲載されています。いずれも生活の質を重視する方向性に着眼した今日的な問題を考える上で、有用な資料となります。関係者のご努力に敬意を表し、これらの貴重な論文の結果が根拠に基づく施策に反映されることを願ってやみません。

最近、論文の著者・共著者に自治体や保健所に所属される方々も多くなってきました。私は保健所に所属しておりまして、今年度は、保健所内の研修で本誌の抄読を取り上げることが計画しております。皆様も、連載と合わせて本誌を積極的にご活用くださいますよう、お願い申し上げます。  
(古屋好美)

### 次号予告 (第55巻・第8号)

#### 原 著

生活習慣病予防における健康行動とソーシャルサポートの関連……………高橋和子, 他

#### 資 料

20歳代および30歳代女性のライフイベントと生活習慣  
結婚, 妊娠, 出産, 育児の影響  
……………西村美八, 他

#### 連 載

臨床経済学の基礎(14)……………大久保一郎  
親子保健・学校保健(6)……………佐藤加代子  
運動・身体活動と公衆衛生(6)……………熊谷秋三